

(8) 中国



中国地域では、景気は緩やかな回復がみられる。

- ・ 鉱工業生産は増加している。
- ・ 個人消費はやや弱含んでいる。
- ・ 雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが強まっている。

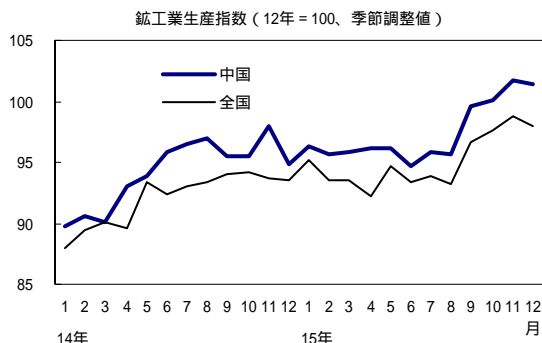
前回調査からの主要変更点

	前回（平成 15 年 11 月）	今回（平成 16 年 2 月）	
景況判断	持ち直しの動きが続いている	緩やかな回復がみられる	
鉱工業生産	おおむね横ばい	増加	
住宅建設	減少	おおむね横ばい	
雇用情勢	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている	依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが強まっている	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は増加している。

化学は、自動車向けなどの国内需要やアジア向け輸出を中心に高めの生産が続いているものの、一部で定期改修が実施されたことにより、減少している。鉄鋼は、国内の自動車、造船向けは堅調に推移しているが、高炉の改修があったことなどにより、おおむね横ばいとなっている。輸送機械は、自動車は欧州向け輸出が増加を続ける中、北米向けも増加に転じており、船舶についても、最近の好調な造船需要によってばら積み船が伸びており、三四半期連続で増加している。一般機械は、輸出向けの発電所用ボイラやタービンのスポット需要があったことにより増加している。電子部品・デバイス、情報通信向けを中心とした液晶、半導体、集積回路の生産が増えており、四半期連続で増加している。



（備考）平成 15 年 12 月の中国は速報値。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期比増減率) (%)

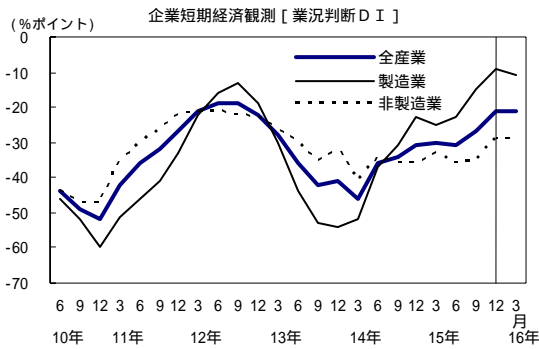
	付加価値 ウェイト	生産		出荷	在庫
		7～9 月期	10～12 月期	10～12 月期	10～12 月期
化学	17.6	0.3	2.6	2.1	2.9
鉄鋼	12.1	3.5	0.2	3.2	16.0
輸送機械	12.0	10.2	10.3	17.1	42.0
一般機械	10.4	1.4	16.7	25.9	11.5
電子部品・デバイス	7.6	11.4	15.1	16.3	-
鉱工業	100.0	1.5	4.2	7.6	8.9

（備考）1. 地域における付加価値ウェイトの高い 15 業種。

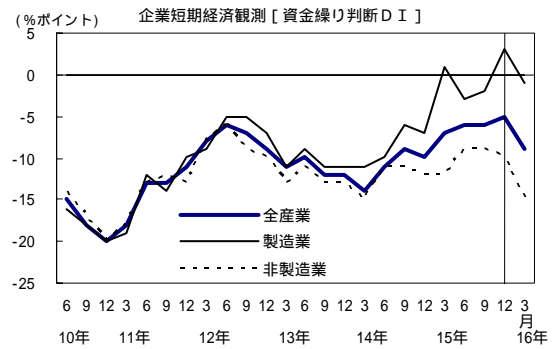
2. 10～12 月期お速報値。

3. 電子部品・デバイスの在庫指数は公表されていない。

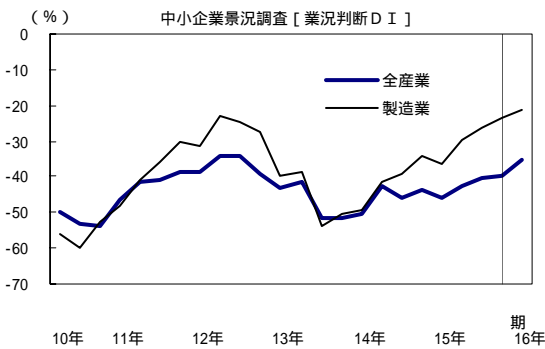
(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「苦しい」超幅が横ばいとなっている。
企業短期経済観測調査 [業況判断D I、資金繰り判断D I] 及び中小企業景況調査 [業況判断D I]



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。16年3月は予測。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。16年3月は予測。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。16年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査 (1月調査) [企業動向関連 (現状判断)]

「積極的な営業活動や客側の景況感の良さが受注の獲得につながっており、生産量は高水準であるが、販売価格は低下気味である(窯業・土石製品製造業)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

(3) 15年度の設備投資は前年度を上回る計画となっている。

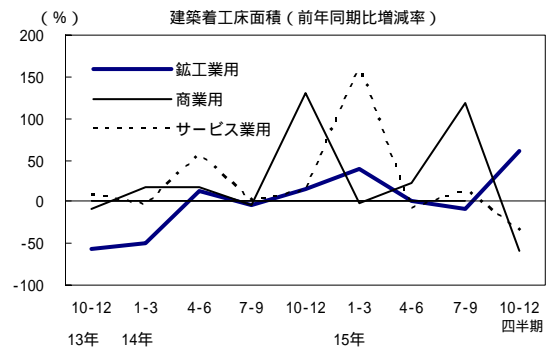
企業短期経済観測調査 [設備投資 (12月調査)]

(前年度比増減率、単位：%)

	14年度実績	15年度画
全産業	9.7	4.5 (1.4)
製造業	10.2	7.2 (2.0)
非製造業	9.1	1.7 (5.3)

(備考) ソフトウェアを含む設備投資。

() は前回 (9月) 調査比修正率。



(8) 中国

2. 需要の動向

(1) 個人消費はやや弱含んでいる。

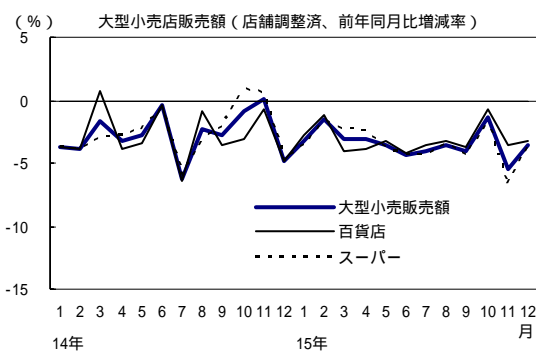
大型小売店販売額及び乗用車新規登録・届出台数

百貨店は、10月は売場改装効果や催事によって飲食料品がプラスに転じたが、主力の衣料品が小幅ではあるものの減少した。11月は歳暮商戦の早期受注により前月に続いて飲食料品がプラスとなったが、暖冬のため重衣料を始めとした衣料品が大幅に減少した。12月は好調だった飲食料品が再び減少に転じ、月の前半まで気温の高い状態が続いたことから衣料品が引き続き減少し、全体では21か月連続で前年を下回って推移している。

スーパーは、10月に衣料品が紳士服や婦人・子供服などが軒並み好調だったことからプラスに転じたが、主力の飲食料品が小幅ではあるものの減少した。また、11、12月は暖冬の影響で衣料品が大きく落ち込み、飲食料品も減少が続いたことから、全体では13か月連続で前年を下回って推移している。

景気ウォッチャー調査(1月調査)[家計動向関連D I (現状判断)]

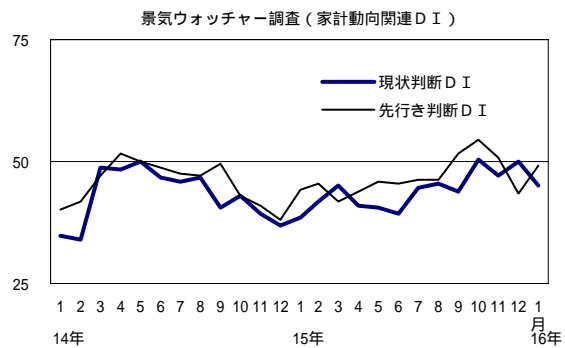
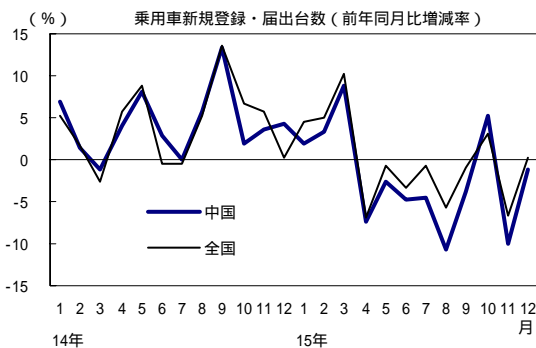
「正月の福袋の売行きは去年よりかなり良く、今月は売上の方もかなり期待していたが、福袋を買った客が他の商品を買うことはあまりなかった(百貨店)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。



(前年同期比増減率、単位：%)

	15年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
大型小売店	2.7	3.6	3.9	3.5
百貨店	2.8	3.8	3.5	2.6
スーパー	2.6	3.5	4.1	4.1
乗用車	5.5	4.8	5.9	2.2
景気ウォッチャー	42.0	40.3	44.6	49.3

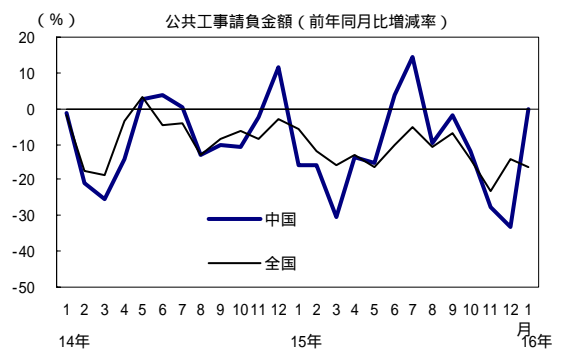
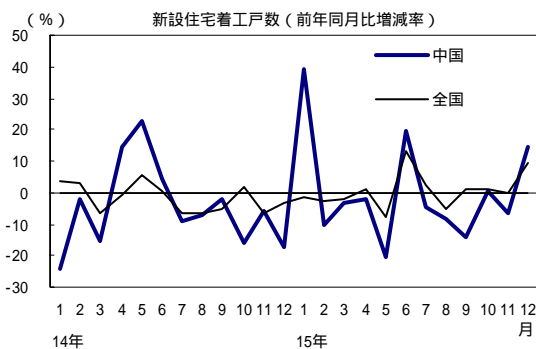
(備考) 1. 大型小売店販売額は店舗調整済。
2. 景気ウォッチャー調査の数値は家計動向関連の現状判断D Iの3か月単純平均。



(2) 住宅建設はおおむね横ばいとなっている。

貸家が前年を下回ったものの、持家、分譲が上回ったことから、全体ではおおむね横ばいとなっている。

(3) 公共投資は年度累計で見ると前年を下回っている。

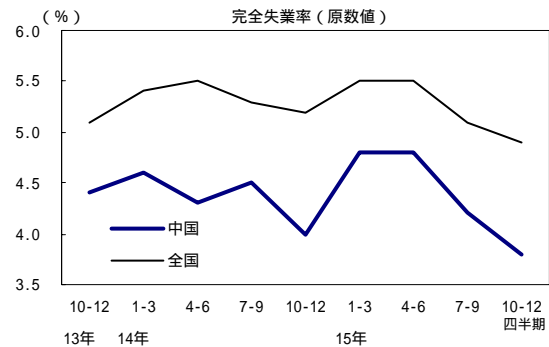
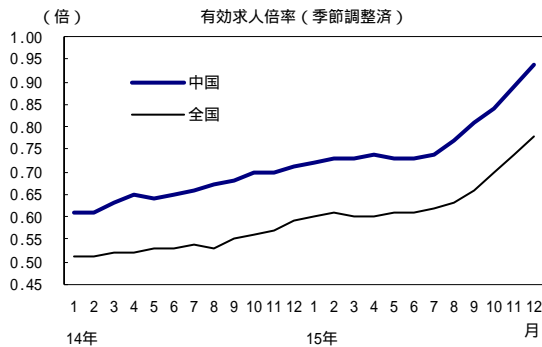


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが強まっている。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は大きく上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



景気ウォッチャー調査(1月調査)[雇用関連(現状判断)]

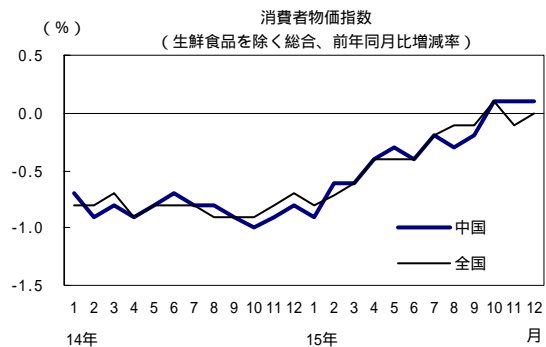
「景気が良い企業と伸び悩む企業とのかい離が激しい。特に印刷業、小売業が伸び悩んでおり、慎重な見方をせざるを得ない(新聞社[求人広告])」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに減少している。

(3) 消費者物価指数はやや上昇している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	15年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	16年1月
倒産件数	234	217	166	143	50
(前年比)	0.4	1.4	33.1	43.7	21.9
負債総額	1,545	844	552	331	317
(前年比)	58.4	75.8	35.0	58.2	44.2



景気ウォッチャー調査(1月調査)[合計D I(特徴的な判断理由)]

<現状>

- ・担当している県内最大手の鶏卵・鶏肉業者が鳥インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザ)で大打撃を受けており、約40件の提携養鶏農家に補償する経費も出ず、惨たんたる状況である。また、レストランや旅館なども、連鎖的に被害を受けており、軒並み売上が減少している(広告代理店)。

<先行き>

- ・特に製造業を中心に求人依頼が増加傾向にあり、人材を紹介してもまだ足りないという声も聞く(民間職業紹介機関)。

